

CORO PIENO

コーロ・ピエーノ

おらしょ～祈りのうた～



2018年6月9日(土)午後3時開演(午後2時半開場)

西南学院大学チャペル

Program



Kyrie / Dies sanctificatus
キリエ / 聖なる日が光輝く

Giovanni Pierluigi da Palestrina
ジョヴァンニ・ピエルルイジ・ダ・パレストリーナ(1525頃-1594)

Veni Creator Spiritus
来たれ造り主なる聖靈よ

O beata Trinitas
聖なる三位一体よ

Ave verum corpus
まことの御体

Anonymous

作曲者不詳(16世紀後半)

*

Mille regretz
千々の悲しみ <リコーダー四重奏>
～シャンソンとパヴァーヌ～

Josquin des Prez / T. Susato
ジョスカン・デ・プレ(1440頃-1521) / スザート編曲

混声合唱のための「おらしょ」

千原英喜 (b. 1957)

カクレキリシタン3つの歌

< 休 憩 >

ヘンデル, バッハ, スカルラッティ 生誕333年を記念して

Prelude
プレリュード <オルガン即興演奏>

Iste Confessor
あの証聖者が
Cibavit nos Dominus
主はわれらを養い

Domenico Scarlatti
ドメニコ・スカルラッティ(1685-1756)

*

Sonata in a minor HWV362, Op. 1-4
リコーダーと通奏低音のためのソナタ イ短調
Larghetto/Allegro/Adagio/Allegro

Georg Friedrich Händel
ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル(1685-1759)

*

Der Geist hilft unser Schwachheit auf BWV226
み霊はわれらの弱きを助けたもう

Johann Sebastian Bach
ヨハン・ゼバスティアン・バッハ(1685-1750)



ご挨拶

本日のご来場まことにありがとうございます。

この夏にも「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が、ユネスコ(国連教育科学文化機関)の世界文化遺産に登録されるとのことです。今日演奏します「おらしょーカクレキリシタン3つの歌ー」は、その文化遺産の対象となった地域で伝承されてきた聖歌や民謡をもとに作られた曲です。厳しい弾圧や禁教期を経て、その宗教観や聖歌は元来のキリスト教の教義とはかなり異なったものとなつたようです。

今日の演奏会の合唱曲は「おらしょ」をはじめ、すべてキリスト教関連の宗教曲です。歌っている私たちも含め、聴衆の皆様方もおそらくクリスチヤンではない方が多いのではないかと思います。しかしながら、宗教曲は信者としての宗教的背景や視点から歌ったり聴いたりしなくては理解できないというものではありません。曲そのものが持つ豊かな音楽性はもちろんのこと、その曲に歌い上げられている愛、神への感謝は宗教の世界を超えて、全人類に訴えかける普遍的な要素を持っています。「おらしょ」について作曲者千原英喜氏は「本曲は私の想い描く架空のキリスト教信仰世界の音写を意図した作品であり、宗教的背景に固執することなく、自由闊達な精神での演唱を目指していただきたく願っている」と述べています。演奏者である私たちが感じた世界を、皆様方にお伝えできましたら本望です。

本日ご出演いただきました指揮の安積道也さんをはじめ、岩田耕作、大坪由香、笠原雅仁の各氏、リコーダーアンサンブルの方々に感謝申し上げます。併せてチャペルをご提供いただいた西南学院大学にお礼申し上げます。

コロ・ピエーノ代表 田中雅美

時空を超えた祈りのうた

「来たれ聖霊、わが主」。キリスト教の暦のなかで、クリスマスやイースターと並んで重要な祝日にペンテコステ(聖霊降臨祭)があります。イエス・キリストの復活から数えてちょうど50日目(今年は5月20日)、弟子たちのもとに炎のような舌が現れ、一同聖霊に満たされ宣教活動に邁進するきっかけとなったと伝えられています。今回はまず、16世紀後半、カトリックの総本山ローマで活躍したパレストリーナが作曲した5声部のモテット「来たれ造り主なる聖霊よ」をはじめ、教会暦でこの時期にふさわしい作品を歌います。

典礼で用いられる聖歌はローマからスペインを経て日本にも伝えられました。これらの聖歌は禁教令により表舞台から姿を消すのですが、弾圧や迫害から逃れたカクレキリシタンにより姿を変えて伝承されてきました。特に長崎県生月島で語り歌い継がれてきたオラショは、原曲となった聖歌にさかのぼり得るもので、音源をはじめとして皆川達夫氏による貴重な研究成果に私たちも接することができます。千原英喜作曲「おらしょ」は、伝承されてきたというオラショを主に、そのルーツとなった聖歌や平戸島の民謡なども素材として織り交ぜながら構成された作品です。

後半のステージでは、今年そろって生誕353年を迎える後期バロックの巨匠3人の作品を取り上げます。1人目はドメニコ・スカルラッティです。彼は長年スペイン王宮に仕えソナタと呼ばれる数多くの鍵盤楽曲を作曲したことでも有名ですが、青年時代かつてパレストリーナが務めたローマ教皇庁のジュリア聖歌隊楽長という要職にも就いており、ボリフォニー様式の宗教曲も残しています。このうち2曲のモテットを演奏します。

2人目はヘンデルです。ドイツ生まれの彼は20代でローマに遊学したのち一時期ドイツに戻り、後半生はロンドンで活躍しました。本日はソナタ作品1の中からリコーダーをはじめ古楽器の演奏でお届けします。

最後はJ.S.バッハの宗教曲から、モテット「み霊はわれらの弱きを助けたもう」を演奏します。「ローマ人への手紙」第8章の聖霊の働きに関するテキストが2群の合唱の掛け合いと4声フーガにより活き活きと歌われたあと、ルター作のコラールで力強く締めくくられます。

それでは、西洋における中世・ルネサンスの聖歌から現代の邦人作品まで、時空を超えた祈りのうたをお楽しみください。

コロ・ピエーノ指揮者 村山 暉

出演者

◇ 安積 道也 指揮



ショトゥットガルトならびにフライブルク国立音楽大学にて、教会音楽科A課程と指揮科を最優秀で修了。ドイツ国家資格教会音楽家最高位（A級カントール）取得。2004年第1回バイロイト合唱指揮者コンクール優勝。在独中、ギュンタースタール聖マリア教会音楽監督とドイツ・フランス合唱団フライブルク常任指揮者を兼任。

レパートリーはジャンルを超えて多岐にわたるが、中でもバッハの『マタイ受難曲』など大規模な管弦楽付宗教作品を得意とする。また、コンサート・オルガニスト、合唱指導者、コンクール審査員として国内外で幅広く活動している。西南学院音楽主事。西南オラトリオ・アカデミー常任指揮者。エリザベト音楽大学非常勤講師。新・福岡古楽音楽祭「合唱セミナー」講師。キリスト教礼拝音楽学会役員。

◇ 岩田 耕作 オルガン



福岡県出身。6歳のときに失明。筑波大学付属盲学校高等部音楽課を卒業後ヨーロッパに留学。ブリュッセル王立音楽院にてチェンバロと室内楽のブルミエ・ブリ、ストラスブル音楽院にてチェンバロと作曲法の金賞を受賞。チェンバロを小林道夫、橋本ひろ、アリーン・ジルヴェライヒ、チェンバロとオルガンをロベル・コーネン、バス・コンティニュオとオルガンをマルタン・ジェステール、作曲法をオディール・シャルベ、マルク・アンドレ、リュートをつのだたかしの各氏に師事。チェンバロ、ピアノ、リュート、ハープなどの演奏の他、新しい日本語による歌曲や合唱作品の作曲も行っている。なお、ハープは全くの独学。

◇ 大坪 由香 リコーダー



8歳より故・麻生純氏にリコーダーの指導を受ける。福岡県立修猷館高校、桐朋学園大学古楽器科（リコーダー専攻）卒業。同大学研究科修了。オランダのデン・ハーグ王立音楽院古楽科をサーティフィケートを得て修了後、アムステルダム古楽アカデミーにて学ぶ。リコーダーを花岡和生、R. カンジ、J.v. ヴィンガーデン、H. テル・スケヘットの各氏に師事。ゆふいん音楽祭、おぐに古楽音楽祭、福岡古楽音楽祭に出演。福岡教育大学非常勤講師、福岡県教委嘱託講師、アクロス福岡「古楽器展」のセミナー講師、福岡女学院「バッハ音楽会」リコーダーステージ特別指導講師（大学生対象）、中学校リコーダーコンテスト審査員（福岡・熊本・鹿児島）等を務める。2006年、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてオランダのユトレヒトへ派遣される。05~16年「西南リコーダーフェスティヴァル」、17年「リコーダーフェスティヴァル in 西南」音楽監督。古楽ユニット「ひとときの音楽」「ザ・リハーサル・バンド」メンバー。福岡市在住。

◇ 笠原 雅仁 テオルボ



武蔵野音楽大学声楽科にて宮本昭太氏に師事。同大学卒業後は有村祐輔氏のもとで声楽、古典音楽理論を学んだ後、1998年に渡英。ロンドンの英国王立音楽大学、大学院古楽科にてN. ロジャー・S. ロバーツの各氏に声楽を、J. リンドベルイ氏にリュートを師事。2002年より仏国パリ市高等音楽院古楽科にてコルネットをJ. テュベリ氏に師事。07年にディプロマを取得し、卒業。アンサンブル「エリマ」、「カンパンニ・オートルムズユール」、「カンタル・ロンターノ」など、フランス内外の主要なバロックオーケストラやアンサンブル等と共に演、またCDやラジオ・フランス、BBCの為の録音に参加する等、特に初期バロック音楽の専門家として国内外で活躍中。15年には舞台劇「メアリー・ステュアート」にリュート奏者として出演するなど、様々な分野での活動を拡げている。「アンサンブル・プリンチビ・ヴェネツィアーニ」主宰。

◇ リコーダーアンサンブル 野田陽子 白濱美佐子 吉田陽子

◇ コーラ・ピエーノ 合唱

1981年の結成以来、西洋音楽の原点といわれる中世・ルネサンス音楽に取り組み、ア・カペラ（無伴奏）合唱の純粹な響きや小編成の声楽アンサンブルの軽妙さ、古楽器との協演などを通して、比較的演奏機会の少ない当時の音楽の魅力、楽しさを伝えようと活動を行ってきた混声合唱団。福岡古楽音楽祭や合唱祭への出演、年に1回の自主公演などを活動の柱としている。

ソプラノ 石丸藍 川上まや* 川添千佳子 木下七海 白水今日子 次田咲枝 中山美智子 前田明子
三久保佐和子 村山文子 横田恵子

アルト 岩熊真由美 奥山由里* 清山栄理 田上朝子 中村千佳 平井佐和子 松村抄子
テノール 江川靖志* 折戸俊介 加藤隆明 澄川政博 田中雅美 宮原淳

バス 安西博之 次田友暉 滑川博信 原田研 松村俊哉* 村山暁 和田真 和田実哲

* 賛助出演